妙高山　惣滝ボルダー＆惣滝の湯

令和 6 年 9 月 26 日　RCT/K

惣滝へは、何年も前のことになるが、見学と野趣溢れる野天風呂を目的に行ったことがあるのだが、その後土砂災害で通行止めになってしまい、その時に見つけたボルダーがずっと気になっていた。今年になりネットで確認すると、野湯ブームもあってか自己責任前提で滝下まで行くことが可能となっているとの情報があった。その後、いろいろと用事も重なり、近距離なのに行く機会を逃していたが、今回漸く秋の長雨の晴れ間に野湯と併せてトライしてくることができた。

岩は安山岩系統で硬くしっかりしているが下地が悪いところがあるので注意が必要。

アクセスは、妙高市燕温泉を目指して行く。温泉街の少し手前に登山者用（日帰り者用）駐車場がありトイレもある。登山ポストと一緒に入域料のボックスがあるので 500 円を支払う。

アプローチは、温泉街を抜け、そのまま河原の湯方面に向かう。壊れた妙仙橋の先から登山道に入り少し登ると惣滝の分岐に明瞭な標識がある。荒れた廃道のような道を進むと権現滝が見えさらに行くと最後は鎖がフィックスしてあり、特に困難なく河原に下りることができる。

《課題紹介》

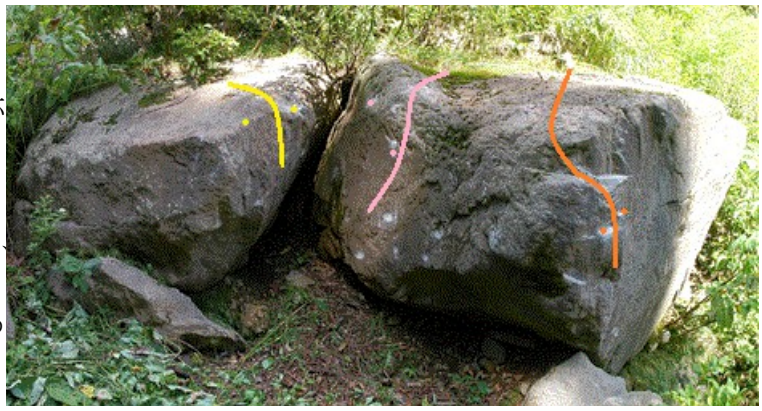
●A 岩

アプローチを渓谷に下りた沢の対岸（左岸）にある高さ 4m 強のハイボルダー。取り付くには対岸に渡渉する。川側の面の取り付き付近には石があるのでクラッシュパッドがあると安心。

赤ライン（課題名：野湯ガール）は、見た目でホールドが上まで続いているので初見で下からトライしたが、最後のスラブへの抜け口に良いホールドがなく緊張する。

青ライン（課題名：滝マニア）は、カンテを挟んで右のスラブ状フェイスで、小カチを繋いで左上し、最後のガバを取ったら岩上に抜ける。

●B 岩＆C 岩　（左：C 岩　右：B 岩）



A 岩の上流 20m 程のところにある高さ 2m 程の並んだ岩。滝壺に向かう踏み跡の途中にあり1回渡渉をする。

B 岩のオレンジラインは、上のガバではなく左手スローパーの大きなホールド、右手その右上の甘いホールドで身体を上げガバにとびつく。上部は右に抜けると落ちた時に右の崖下に転がる可能性があるので、左気味に抜ける。

ピンクラインは、左手斜めの小ホールド、右手も小ホールドでスタートするが、右足のスメアホールドの位置が悪く登り難い。

C 岩の黄色ラインは、両手岩上のホールドスタートでマントリング。